

この他、世界で最も注目されているピアノリストの一人であり、当劇場のスタインウェイ社製ピアノの選定者でもあるユジャ・ワンのピアノリサイタルでの名演や二〇一八年より夏・冬開催となったサツポロ・シティ・ジャズ冬で登場した舞台上客席でのシアタージャズライブの開催など、劇場のハイスペックな舞台機構を駆使した数々の公演が行なわれました。

札幌市民交流プラザは、札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオの他、札幌文化芸術交流センター SCARTS、札幌市図書・情報館との複合施設です。劇場法前文で「示されているとおり」劇場、音楽堂は、人々の共感と参加を得るにより『新しい広場』として、地域コミュニティの創造と再生を通じて、地域の発展を支える機能も期待されている」ことも踏まえて、都心部における新たな文化芸術の発信拠点

## 札幌劇場祭 (TGR) 2018 を振り返って

今年度も、一三回目となる札幌劇場祭 (TGR) 2018 が、一月一日(木)〜二月二日(日)の約一ヶ月間、開催され、無事に終了いたしました。TGRに参加してくださった劇団、関係団体の皆さん、ありがとうございました。また、なにより、多くのお客様が劇場に足をお運びくださり、活気あるTGR2018 になったこと、本当に感謝しております。

そして市民の日常的な交流の場として、これからも都心部における新たな賑わいの創出を目指していきます。



アイーダ 札幌公演  
(写真提供：札幌文化芸術劇場 hitaru)



白鳥の湖 札幌公演  
(撮影：Y's PHOTO SELECTION)

## 札幌劇場連絡会 会長 斎藤ちず

TGR2018 は、三二団体の参加を得て、一二八ステージ、総入場者数一〇、〇九八名でした。昨年度に比べ、参加団体数、入場者数ともに幾分少なく、全体として低調との声も聞かれました。しかしながら、一方、道外劇団の意欲的な参加や若手劇団の名作への挑戦などの特徴も見られました。

大賞 エントリー一八作品、新人賞 エントリー三作品で競われた賞レースは、世界エイズデーシアター「TEA FOR TWO」二人でお茶を」が大賞を、道外からの参加の二劇団が優秀賞を、旗揚げ三年目の演劇家族スイートホーム「裸足でペーラン」が新人賞を、それぞれ受賞しました。

世界エイズデーシアターは、エイズの蔓延防止、HIV感染者・エイズ患者への差別や偏見の解消を目的の様々な啓発事業を手掛ける実行委員会が、ことにパトスを会場に二〇一四年から毎年行っている公演です。「TEA FOR TWO」二人でお茶を」(作・関根真一(劇団フライングステージ)、演出・町田誠也(劇団 words of hearts))は、男性カツプルの二五年間を描く二人芝居で、脚本・演出・役者の三点において、もともとパランスよく優れ、完成度の高さが評価されました。演劇という手法を活用しつつ、多くの人に伝わるエンターテイメント性にすぐれ、その目的を果たしていたと思われまます。

優秀賞を受賞した二作品、空宙空地(名古屋)「轟音 つぶやくよううたう、うたう彼女は」@コンカリーニョ、劇団こぶく劇場(宮崎)「ただいま」@ZOOは、ともに道外からの参加で、自分たちの活動拠点を遠く離れた札幌、北海道で初めて出会う観



TGR2018 大賞 世界エイズデーシアター「TEA FOR TWO ~二人でお茶を~」

客に、自分たちの舞台を届けたいという強い意志が感じられました。偶然にも、両作品ともに私たちのすぐ隣、身近にあるかもしれない生活、人生をモチーフに、それぞれの座付き作家(空宙空地・関戸哲也、こぶく劇場・永山智行)独自の視点で切り取られ、フォーカスされた作品で、観劇しながら、生きることに、人生とは?に対して、楽しく、想像しながら考え、想いを馳せることのできるものでした。演技、舞台に関しても、それぞれの一貫した演出意図のもと、オリジナリティあふれる工夫が施され、見事でした。

第三回公演で新人賞を受賞した演劇家族スイートホーム「裸足でペーラン」@BLOCHは、つくりの荒さが気になる部分はあるものの、「ドロップアウトしかけた大学生」の話を、劇団員が全力で舞台化した好感の持てる「今しかできない演劇」であったことが評価されました。

以下、各賞です。

#### 【俳優賞】

木山正大さん(RED KING CRAB「ガラスの動物園 The Glass Menagerie」)  
村上義典さん(世界エイズデーシアター「TEA FOR TWO」二人でお茶を」)

#### 【審査員賞】

RED KING CRAB「ガラスの動物園 The Glass Menagerie」  
小島瑚乃美さん(旅木演劇工房「丘の上の桜の木に」)

◆オーディエンス賞 ホームラン王◆

トランク機械シアター「ねじまきロボットαバクバク山のオバケ」

◆オーディエンス賞 首位打者◆

人形劇団ばべつとグース「人形劇『舌きりすずめ』ほか」

札幌劇場連絡会では、昨年度より日韓劇場祭交流事業として、(二社)韓国小劇場協会と、隔年相互公演を主とした交流事業を始めました。昨年は、韓国の劇団が札幌で公演し、今年度は、昨年の大賞受賞Yhsが、一月二〇日と二一日と大学路(ソウル)小劇場祭で「白浪っ!」の公演を行い、好評を博しました。また、今年度のTGRアカデミー生もこの来韓公演に同行、観劇・視察などを行いました。大学路は、約二一〇の小・中劇場がひしめき、いわゆる小劇場演劇だけでなく、古典、商業演劇、観光客向けの演目等数多くの演劇公演が行われている韓国有数の演劇地区です。都市の中での劇場の役割、観光で訪れた外国人も含めた観客層に向けての情

## 札幌演劇シーズン二〇一八年の動向

札幌演劇シーズン実行委員会 事務局長 飯塚 優子

二〇一八年と二〇一七年度の演劇シーズン上演演目を以下に列挙します。(上演順)

二〇一八冬シーズン(二〇一八年一月二〇日～二月二日)

イレブンナイン「サクラダファミリア」

報発信など、大いに学ぶべき点も多い刺激的な訪韓公演となりました。Yhs公演メンバー、TGRアカデミー生等、若き札幌の演劇人たちが、自分たちの目と体感で海外の現場を見、感じ、考えることのできる機会を提供できたことは、非常に有意義であったと思います。

TGRは、札幌で演劇公演を行う一〇の劇場で構成される札幌劇場連絡会が、主催開催しております。毎年、参加劇団はじめ各方面からのご意見を基に広報、懸賞制度の在り方など、少しずつ見直しをかけつつ開催しております。今年度は、冒頭にも記載しました参加団体数・入場者数の減少、全体として低調の評価など、次年度に向けての課題を得ました。劇団と劇場がともにつくり上げるTGR、状況の変化も鑑みながら、発展できるように、話し合いも続けてまいります。ありがとうございます。TGR2019もよろしくお願ひいたします。

ホエイ「珈琲法要」

※TGR札幌劇場祭2016大賞作品

円山ドジャース「誰そ彼時」

菘巻楽団「ユー・キャント・ハリー・ラブ」

※レパートリー作品